



日本共産党
市川市議会議員
浦安市川市民
病院議員

谷藤利子の市政報告

自宅 398-5948、メールアドレス: tanifuji5948@hotmail.com 05年4月10日発行 NO29

無料法律相談

5月12日(木)
市川市役所内、日本共産党控室にて。予約制です 334
- 1111(内線)4591

3月議会 一般質問

歩道の段差解消

行徳地域は水路にフタ掛けした歩道が多く、ガタガタ音がしたり、段差ができてつまずいたり、大変危険です。これまでも地元のみなさまから改善の要求がたくさん出されており、実態調査を行って市への申し入れも行ってきました。

先に行われた定例3月議会
で谷藤市議は、歩道の段差
解消について、特にコミュニ

ティバス運行ルートや福栄1丁目
や2丁目の住民から出された具体
的な場所について、市の取り組みを
強めるよう求めました。

優先順位を早めると答弁

これに対し市は、「コミュニティバス
運行ルートの歩道の改善について
は、計画を早めて行うこと、また福
栄2丁目の危険な箇所等については
優先順位を早めて改修を行うこと
を約束しました。」

現地調査をする谷藤市議(右)と改修がはじまった福栄2丁目歩道



10月スタート、行徳でも コミュニティバス走る

武蔵野市のムーバス



ルートは、メディアパークー鬼高 田尻 妙典駅 南沖児童交通公園 行徳支所 行徳駅 (南消防署前の通り) 南行徳駅 南行徳公民館 広尾防災公園 (島尻) - 浦安市川市民病院まで。

今年一〇月から、市川市内北東部と行徳地域で実験的にコミュニティバスを運行することになりました。バス料金は一律百円、30メートルごとにバス停を設置し、駅と主な公共施設を結びます。行徳地域では、地元住民のみなさんと党後援会これまで署名や市への申し入れ、またバス事業者への申し入れも重ねて、やっと実現することになったものです。また、3月議会で谷藤市議が「行徳地域のコミュニ



トランジットバス会社に申し入れ

時間やルートなどひき つづき声をあげましょう

ティバス運行は市民要求に
どのように応えようとして
いるのか」と質問したのに対
して市は、「公共施設を結ぶ
と同時に、駅を経由すること
で放置自転車や路上駐車を
なくすねらいがある」と答え
ています。

今後、一〇月から半年間の
実証期間を経て、課題を整理
し、ルート等も正式に決定す
ることになっています。ひき
つづき利用しやすい「市民の
バス」になるよう、名前やル
ートなども提案していきま
しょう。

不法投棄の車50台！まさに無法地帯

本行徳石垣場・東浜地域の環境問題の経過

本行徳石垣場・東浜地区の48ヘクタールは、昭和48年に千葉県が、江戸川左岸流域下水道第一終末処理場用地として都市計画決定した区域です。ところが翌昭和49年、事業者である千葉県は、地権者の反対を理由に当地での処理場建設を断念し、新たな処理場の位置については市川二期埋め立て計画（三番瀬の埋め立て）地に変更すると表明したのです。

しかし、それから30年間、経済の動向や三番瀬埋め立て反対の環境運動の高まりのなかで二期埋め立ては行われず、下水処理場としての都市計画の網がかかったまま、暫定的な土地利用として残土置き場や資材置き場として土地利用が行われてきたのです。そのため、この地区の一部には大量の残土が無秩序に堆積されてしまったほか、大型車による建設廃材などの搬入に伴う砂ぼこりや騒音、振動、車や電気製品等の不法投棄等により、付近の住民生活に大きな環境破壊をもたらしてきたのです。

千葉県は4年前、三番瀬の埋め立て計画を中止し、再度下水処理場を当初の約半分の規模に縮小して当該地に設置することを表明しました。今年度は都市計画変更を行い、平成21年度には処理場の一部を供用開始し、処理場の上部や周辺には水と緑の環境再生を行い、日本共産党と住民の要求等により、市川市も、学校や福祉施設用地3、3ヘクタールを確保するところまで土地利用計画の変更は目前にきています。

しかし、周辺住民は、大量の大型ゴミの不法投棄、大型車両出入りによる埃、早朝深夜の作業など、「環境悪化は何も改善されていない」「あそこは別世界」と怒りをあらわにしているのです。



大量のゴミが不法投棄された現場を調査する市議



日本共産党行徳東後援会のみなさんと市への申し入れ

市議は、現地調査をした状況と住民の声をとりあげ、「大量に不法投棄された大型ゴミの撤去や今後の不法投棄対策、大型車出入りに伴う埃対策など、住民の生活環境を改善するために市川市が最大限の努力をするのは当然ではないか、」と迫りました。

これに対し市は、「3月17日から不法投棄されたゴミの撤去を始めた。車約50台、冷蔵庫、テレビ、ペットボトルなど、大量に投棄されている。今後も撤去を続け、監視カメラや不法投棄禁止看板等、対策を強化し、埃や早朝夜間の作業への警告にも最善を尽くす。」と答弁しました。

市民の住環境改善は当然、早急な手立てを

通称「行徳富士」と呼ばれる残土の山がある本行徳石垣場・東浜地区48ヘクタールの環境改善について、谷藤利子市議は去る3月22日、定例市議会一般質問し、市川市の姿勢を正しました。

